

令和6年度
施政方針及び当初予算提案説明

令和6年2月21日

桶川市

令和6年桶川市議会第1回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和6年度予算案及び主要施策の概要を御説明申し上げます。

【 はじめに 】

市民の皆様から信託を頂き、市政3期目の重責を担わせていただいております。早いもので4年目を迎えようとしております。この間、多くの市民の方々や議会の皆様の御指導、御協力を頂きながら、職員と一丸となって全力でまちづくりに取り組んでまいりました。

昨年5月に、私たちのライフスタイルや価値観に大きな変化をもたらしたコロナ禍が明け、社会経済活動の正常化が進みつつあります。その一方、世界的な物価高騰とそれに対応する各国金融引き締めによる海外景気の下振れリスクなど、依然として世界情勢は不透明さを増しております。

我が国においても賃金上昇が図られているものの、実質賃金は減少するなど、今なお、物価高騰が市民生活に大きな影響を与えております。

そのような中、本市といたしましては、住民税非課税世帯等への給付金の支給や、市独自事業として子育て世帯への商品券配布事業、事業者・生産者支援、学校給食費の負担軽減など様々な施策を実施し、限りある資源を有効活用しながら市民生活や地域経済を下支えしてまいりました。

さて、本市の財政状況につきましては、依然として非常に厳しい状況が続いております。少子高齢化社会の進展を背景に社会保障経費は増加し続けるとともに、物価高騰の影響により委託料をはじめ様々な経費が増加しております。さらに今後は、ごみ処理施設整備など多くの財源を要する事業も控えております。

このような厳しい財政状況の中であっても「桶川市第六次総合計画」の実現に向け事業に取り組むとともに、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け、本市の発展や市民福祉の向上を図るために必要な施策を着実に前進させてまいります。

今後も引き続き、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【 市政運営に対する基本的な考え方 】

それでは、市政運営に関する基本的な考え方につきまして、順次申し上げます。

令和6年度の市政の運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、社会情勢の変化に合わせ、多様化する行政需要に柔軟に対応していく必要がございます。

当初予算の編成に当たりましては、第六次総合計画を基本とし、新しい時代を見据え、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、予算措置したところでございます。

それでは、5つの分野の主な事業について御説明申し上げます。

はじめに、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」でございます。

市民の安全を確保するため、駅前などへの防犯カメラの設置や自転車用ヘルメットの補助など、安心して安全な基盤づくりに取り組んでまいります。また、駅西口トイレ整備事業や愛宕^{ひがし}東線整備事業に取り組むなど、安心安全で利便性の高いまちづくりも推進してまいります。

次に、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」でございます。

子育てを支援するため、1か月児健康診査の助成を、既存の助成に追加することや、保育料軽減の拡充を行うなど、引き続き安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。また、小中学校におきましては、昨年に引き続き、熱中症対策として体育館空調設備等の整備に取り組んでまいります。さらに、放課後児童クラブにおいて学校の長期休業中の配食サービスの導入、中学校の部活動の地域移行に向けた検討

など、こどもが輝き、安心して学ぶことのできる教育環境の整備を推進してまいります。

次に、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」でございます。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域支え合い事業、居宅サービス利用料軽減事業など、様々な在宅福祉サービス事業を引き続き実施してまいります。また、がん患者の方の心理的・経済的な負担の軽減を図り、安心して社会参加を継続できるよう、外見の変化を補うウィッグ等の購入費用の一部助成や、介護人材確保を目的とした介護入門的研修を新たに実施するなど、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」でございます。

道の駅推進事業につきましては、令和7年3月の開業に向けた施設の建設や準備を行ってまいります。また、べに花まつり、市民まつり、春のふれあいフェスタなどを開催することで、桶川市の魅力を発信し、にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりを推進してまいります。

次に、「新たな時代に向けたまちづくりの推進」でございます。

駅東口整備事業やごみ処理広域化に向けた取組を着実に進めるとともに、日出谷地区公共施設等の整備についての基礎調査を実施するなど、新たな時代に向けたまちづくりを推進してまいります。

【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和6年度予算編成に当たりましての基本的な考え方を申し上げます。

国による令和6年度の経済見通しによりますと、令和5年11月に閣議決定された「デフレ脱却のための総合経済対策」等の進捗に伴い、官民連携した賃上げをはじめとする所得環境の改善や、企業の設備投資意欲の後押し等が相まって、民間需要主導の経済成長が期待されるしております。その一方で、海外景気の下振れリスクや価格動向に関する不確実性が存在すること、令和6年能登半島地震の影響、金融資本市場の

変動の影響等には十分注意する必要があるともされております。

こうした中で編成された国の令和6年度一般会計予算案は、新型コロナウイルス感染症への対応などで膨らんだ予備費を、平時へ戻すなどの影響により、前年度比1.6%減の1兆5,717億円となり12年ぶりに減額となっております。

地方自治体の予算編成の指針となる地方財政計画におきましては、社会保障経費や人件費の増加が見込まれる中、住民のニーズに的確に応えつつ、こども・子育て政策の強化など様々な行政課題に対応できるよう、前年度を上回る一般財源総額が確保されたところでございます。歳入につきましては、定額減税の影響により地方税が減少する一方で、地方交付税や定額減税の補てんで地方特例交付金等が増加いたしました。また、歳出につきましては、地方が幅広い施策に自主的・主体的に取り組むことができるよう所要の経費を措置し、地方一般歳出も前年度を上回る額が確保されたところでございます。

このような社会情勢の中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入は、前年度比較で1.1%の減額を見込んでいるところでございます。さらに、歳出につきましては、高齢化等を背景とする社会保障経費や、会計年度任用職員への勤勉手当の支給開始等に伴う職員人件費などの義務的経費の増加、物価上昇による委託料等の増加など、行政需要の増大により極めて厳しい財政状況にあります。

こうした状況にあっても、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を推進するため、将来への投資を行いつつ、子どもから高齢者まで多くの市民の皆様が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

【 令和6年度予算案の概要 】

令和6年度の予算案は、これまで申しあげました考え方に立って編成いたしましたもので、その規模は、

一 般 会 計 2 8 2 億 7 , 6 0 0 万 円
(前年度比 6.9%増)

国民健康保険特別会計	71億1,200万円 (前年度比 2.5%減)
介護保険特別会計	68億5,200万円 (前年度比 5.9%増)
後期高齢者医療特別会計	13億9,800万円 (前年度比 4.2%増)
公共下水道事業会計	16億5,523万9千円 (前年度比 4.4%増)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきまして御説明申し上げます。
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和5年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比1.1%減の106億8,799万円を計上いたしました。なお、個人市民税につきましては、定額減税が予定されておりますが、影響額を算定することが難しいため、この分は考慮しておりません。

地方譲与税から地方特例交付金までにつきましては、国から示される地方財政計画や実績などを参考にそれぞれ計上いたしました。なお、地方特例交付金につきましても、市税と同様に定額減税の影響額の算定が難しいことから、この分につきましては、計上してございません。

地方交付税につきましては、令和5年度の算定額や地方財政計画などを参考に、前年度比14.8%増の36億5,000万円を計上いたしました。

国庫支出金につきましては、児童手当負担金などの増加に伴いまして、前年度比9.6%増の43億3,130万9千円を計上いたしました。

県支出金につきましては、こども医療費支給事業補助金などの増加に伴いまして、前年度比4.2%増の18億8,890万8千円を計上いたしました。

諸収入につきましては、後期高齢者保健受託事業収入などの増加に伴いまして、前年度比17.7%増の7億1,914万9千円を計上いたしました。

市債につきましては、商工債の増加などに伴いまして、前年度比33.7%増の31億2,310万円を計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第六次総合計画」における政策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要を御説明申し上げます。

1 生きる力と豊かな心を育む 桶川

【教育・文化に関する分野】

子ども達の創造性を育む教育や誰もが生涯にわたる学びを通じ、地域の自然や文化に触れ、個性や価値観を認め合いながら、生きがいのある豊かな人生を育むことができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、就学前教育の支援・充実につきましては、子ども達の幼児期からの心身ともに調和のとれた成長・発達のため、幼稚園、保育所などと小学校の連携を図ってまいります。また、家庭における教育力向上のための研修会を行うとともに、保護者への各種情報提供や啓発に取り組んでまいります。

次に、学校教育の充実につきましては、近年の記録的猛暑などを鑑みて、安心・安全・快適に学習できる教育環境を実現するため、引き続き市内全ての小・中学校の体育館に空調設備の整備を進めてまいります。令和6年度は、令和5年度に設計を実施しました小学校3校で整備工事を行うとともに、中学校4校の設計を実施してまいります。また、学校給食につきましては、食育・地産地消の推進のため桶川産農産物の利用拡大に向けた取組を進めてまいります。近年、不登校や個別の配慮を必要とする児童生徒が増加する中、本市では駅西側の教育センター内に適応指導教室「けやき教室」を設置し、不登校児童生徒を支援してまいりましたが、令和6年度からは、駅西側の「けやき教室」に加え、駅東側の地域福祉活動センターにおきまして「けやき教室分室」を運用し、支援の充実を図ってまいります。さらに、中学校部活動の地域移行につきましては、令和6年度に「部活動地域移行検討協議会」

を設置し、段階的に地域移行を進めてまいります。

次に、青少年の健全な育成につきましては、青少年が社会から取り残されず、健やかに成長し、自立、活躍することができるよう、家庭や学校だけでなく、地域全体で支える環境づくりを進めるとともに、青少年を育成する団体との連携や支援を通じまして、青少年の社会力・生きる力を伸ばし、健全な育成に努めてまいります。

次に、生涯学習・生涯スポーツの充実につきましては、桶川サン・アリーナ利用者の利便性の向上と施設機能の充実を図るため、サブアリーナ暑さ対策としまして、空調機設置の可能性を調査するとともに、当面の対応といたしまして冷風機を設置いたします。また、本市と連携協定を締結しております「日本体育大学」や「埼玉西武ライオンズ」、「埼玉上尾メディックス」と「スポーツフェスティバル」や「オケちゃん駅伝競走大会」などを通じまして、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の方々にスポーツの楽しさを体験していただけるよう、連携を深めながら事業を実施してまいります。

次に、文化・芸術の振興・保存・継承につきましては、文化活動の発表の場としまして、市役所1階の市民ギャラリーの活用や、「おけがわ市民芸術文化祭」などを通じまして、文化芸術の振興を支援してまいります。また、本市の貴重な文化財や伝統などを保存、継承するため、各種調査や文化財の指定などを実施するとともに、本市の歴史や文化財への興味や理解が深まるよう、文化財の積極的な活用を図ってまいります。さらには、本年4月にリニューアルオープンを迎えます歴史民俗資料館の展示などを通じまして、本市の歴史と文化を広く発信してまいります。なお、大規模改修工事を終えました川田谷生涯学習センター、農業センター及び、隣接する開業予定の道の駅につきましては、施設間の移動に十分配慮のうえ、調和のとれました一体的な外構を整備してまいります。

次に、人権教育・啓発と平和の推進につきましては、基本的人権を互いに尊重し、あらゆる差別を無くすとともに、平和で明るい社会を築くため、正しい知識を学び、自ら考え行動することができるよう継続的な人権教育の推進と平和が尊重される社会づくりを進めてまいります。

2 共に支え合い いきいきと暮らせる 桶川 【健康・福祉に関する分野】

市民の健康づくりに対する支援や、保健・医療・介護体制の充実、子育て支援、障害者の自立支援などの充実を図り、住み慣れた地域で共に支え合い、健康で幸せな生活を続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、健康づくりの推進・医療の充実につきましては、市民が日常生活において体を動かすきっかけづくりの支援として、埼玉県で実施しております健康増進事業のアプリを活用した「健康マイレージ事業」を実施してまいります。また、がん患者の方の心理的、経済的な負担の軽減を図り、治療後も安心して社会参加を継続できるよう、治療による外見の変化を補うウィッグ等の購入に要する費用の一部を助成してまいります。

次に、子ども・子育て支援の充実につきましては、新たに国から示された「こども大綱」を勘案し、「子ども・子育て支援事業計画」、「子どもの貧困対策計画」、「子ども・若者計画」、「次世代育成支援行動計画」等を一体的にまとめた「こども計画」を令和6年度に策定してまいります。

また、子育て支援をおこなうため、全ての第2子にかかる保育料の半額軽減を実施するとともに、放課後児童クラブにおいては、長期休業中の配食サービスをすべての公営クラブで導入してまいります。また、より良い保育環境を提供するため、鴨川保育所の大規模改修工事を実施してまいります。

さらに、乳幼児への切れ目ない支援を提供するため、4か月児、1歳6か月児、3歳3か月児の各種乳幼児健康診査に加え、新たに1か月児の健康診査を追加して実施いたします。

次に、高齢者支援の充実につきましては、将来的な介護人材不足に備え、介護に関心を持つ介護未経験者に対して、入門的研修の実施から市内の介護事業者とのマッチングまでを一体的に行ってまいります。

次に、障害児者支援の充実につきましては、障害や難病などがある

方々が地域で安心して生活するために必要な福祉サービスの拡充を図るとともに、手話通訳者養成講座の回数を増やし、市の登録手話通訳者の増員に取り組んでまいります。

さらに、老朽化対策とあわせて水害危険度の低い安全な場所へ移転するため、引き続き、いずみの学園の建設を実施してまいります。

次に、自立した生活への支援の充実につきましては、誰もが経済的に自立した生活を送ることができるよう、生活保護制度の適正な運用を図るとともに、関係機関との連携を図りながら就労支援などに取り組んでまいります。

次に、地域福祉の推進につきましては、重層的支援体制整備事業として開設した福祉総合相談窓口を充実させ、市民ニーズや社会の変化に対応しうる持続可能な地域福祉の増進を図ってまいります。

3 安心して暮らし続けられる 桶川 【安心安全・都市基盤に関する分野】

防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実により、市民一人ひとりの生命と財産を守るとともに、生活機能が集積する拠点と交通ネットワークの形成により、生活の利便性を高め、心穏やかに暮らし続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、防災・減災対策の推進につきましては、市民、事業者等が自助・共助・公助の考え方を理解し、主体的に災害に備え、自発的に行動できるよう、市や地域で行う防災訓練などを通じて、意識啓発と地域防災力の向上に努めてまいります。また、市内で発生する火災等の消防活動等を担う消防団につきましては、引き続き、消防団員の確保及び女性団員の登用に努めるなど、充実強化を支援してまいります。

次に、防犯まちづくりの推進につきましては、市民の防犯意識の向上を図るため、防犯に関する知識の普及や防犯意識の啓発に取り組むとともに、防犯パトロールや啓発活動を行う自主防犯団体を支援し、活動の促進に努めてまいります。また、犯罪の抑止や事件・事故の捜査機関へ

の協力等、犯罪の起こりにくい地域環境づくりを行うため、駅周辺に防犯カメラを設置するとともに、引き続き防犯灯の設置や適切な維持管理を行うなど、防犯環境の整備を図ってまいります。

次に、交通安全対策の推進につきましては、交通安全意識や交通マナーの向上に関する周知・啓発活動に取り組むとともに、自転車用ヘルメットの普及促進を図るため、購入費の一部を補助してまいります。また、歩道整備や道路照明灯のLED化など、更なる交通安全施設の整備や適切な維持管理を実施してまいります。さらに、施設の老朽化が進む桶川駅西口第1自転車駐車を改修するための設計を行ってまいります。

次に、治水対策の推進につきましては、大雨に伴う浸水被害などの軽減を図るため、宮ノ協調整池、江川流域水路などの^{しゅんせつ}浚渫工事を実施するとともに、目沢排水路流域や下日出谷西地区の治水対策を計画的に実施してまいります。また、一級河川江川につきましては、引き続き早期改修を国、県へ強く要望するとともに、現在、上流域で埼玉県が進めている調節池の整備事業に協力してまいります。

次に、良好な都市環境の形成につきましては、公園利用者のニーズを踏まえた改修や適切な維持管理を図るため、駅西口公園の水施設の一部をリニューアルするとともに、都市公園の施設長寿命化計画に基づき、城山公園「ジャブジャブ池」の^{ろ過機}ろ過機をはじめ、その他都市公園の老朽化に伴う遊具の改修工事を実施してまいります。

また、引き続き駅東口地区の公共下水道の^{かんきよ}管渠整備を実施するとともに、持続可能な下水道事業運営を図るため、ストックマネジメント計画に基づく施設の点検調査を進め、計画的な改築工事を進めてまいります。

次に、道路の整備・管理につきましては、交通利便性が高く安心して移動できる道路環境の形成を図るため、引き続き^{ひがし}愛宕東線の計画的な整備を推進してまいります。また、安心安全な道路環境の形成を図るため、道路の舗装修繕及び橋りょうの定期点検の結果を基に橋りょう修繕を実施するとともに、狭あい道路の整備を推進してまいります。

次に、安全な消費生活の確保につきましては、変化する消費トラ

ブルに対応するため、引き続き専門の相談員を配置し相談者の支援体制を整え、市民の方々が安心して消費活動を行える環境づくりを図ってまいります。

次に、生活に身近な拠点の形成につきましては、魅力ある中心市街地の形成を図るため、駅東口駅前広場や駅東口通り線、市道11-1号線の整備を推進するとともに、南小跡地等につきましては利活用調査結果を踏まえ、駅東口整備の進捗に合わせて事業を推進してまいります。

また、駅西口トイレを新たに整備するとともに、日出谷地区のコミュニティ拠点においては、地域の交流や生涯学習、子育て支援などの場づくりとして、施設整備に向けた基礎調査を実施いたします。さらに、引き続き市内循環バスの試験運行を実施し、本格運行に向け利用者のニーズにあわせた利便性の更なる向上を図ってまいります。

4 環境にやさしく みどりと調和した 桶川

【環境・みどりに関する分野】

再生可能エネルギーの導入、ごみの減量化や再資源化、河川や雑木林、公園などのみどりや水辺の保全と活用を図り、人と自然にやさしく、みどり豊かで快適なまちづくりを進めてまいります。

はじめに、地球温暖化対策の推進につきましては、2050年温室効果ガス実質排出量ゼロを目指し、地球温暖化に関する意識啓発を図るとともに、省エネ機器の普及や公共施設における再エネ機器の導入など環境負荷の低減に向けた取り組みを推進してまいります。また、新たに「環境基本計画」を策定し、地球温暖化対策やみどりの保全など環境に関する施策を総合的にかつ計画的に推進してまいります。

次に、資源循環型社会の構築につきましては、安定したごみ処理体制を構築するため、引き続き川島町と協議を行いながら、ごみ処理の広域化を早期に実現できるよう取り組んでまいります。また、市民等との連携・協力によりごみの排出量抑制や再資源化に取り組むなど、更なるごみの減量化を推進してまいります。

次に、快適で衛生的な地域環境の創出につきましては、良好な生活環境の充実を図るため、生活環境の維持・保全に関する規制の内容等を周知し、意識啓発を図るとともに、騒音や振動、大気汚染などの環境調査や公害の監視などを実施してまいります。

次に、みどり空間の創出につきましては、緑化活動の推進を図るため、緑化ボランティア団体への支援やみどりに関するイベントを実施してまいります。また、新たに「緑のまちづくり基本計画」を策定し、緑化の推進や緑地の保全など緑に関する施策を総合的にかつ計画的に推進してまいります。

次に、憩いの自然空間の保全と活用につきましては、自然と生活環境との調和を図るため、市民緑地や保存樹林の指定など身近なみどりや水辺環境、生態系の保全等に努めてまいります。

5 にぎわいと活力ある 桶川

【産業・経済に関する分野】

農業、工業、商業、観光業など、多様な産業の連携や振興を図るとともに、中心市街地の活性化、地の利をいかした企業誘致や施設の立地誘導を図り、住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、農業の振興につきましては、農業振興地域整備計画に基づき、新規就農者の確保や、担い手への農地の利用集積を推進するとともに、農地の効率的かつ総合的な利用を図るため、地域との話し合いにより地域計画を策定し、地域農業の維持発展を図ってまいります。

次に、工業の振興につきましては、事業活動の発展や維持、安定的に成長できる環境づくりを推進するため、中小企業融資制度や相談支援体制の充実を図ってまいります。また、企業誘致を推進するため、桶川北本IC周辺東部地区において、広域交通網の結節点という地の利をいかした産業基盤づくりに向け、引き続き地権者協議会及び事業者と共に協力し、事業の実現を目指してまいります。

次に、商業の振興につきましては、空き店舗に新たに新店を出す事業者

に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを進めてまいります。また、市内での開業を目指す方に対し、創業支援事業計画に基づき、関係機関との連携による支援を実施してまいります。

次に、観光の振興につきましては、令和7年3月の開業に向け、観光まちづくり拠点となる道の駅の建設業務を引き続き進め、地域の魅力発信、農商工の振興、災害時の防災拠点機能を有する施設として整備してまいります。また、開業に向けた準備として、運営事業者と連携を図りながら、生産者・事業者説明会を実施するとともに、運営体制の構築や事前広報、開業時のイベントなども実施してまいります。

さらに、観光協会と連携しながら、おけがわ散策マップのリニューアルを行うことにより、さらなる魅力発信に努めながら、誘客人口の増加を図ってまいります。また、べに花等を活用したまちづくりを進めるため、関係団体への支援を引き続き行ってまいります。

次に、就労支援と勤労者福祉の充実につきましては、労働関係機関と連携しながら、就労に関する情報提供や相談機能の充実を図り、雇用機会の確保や勤労者福祉の充実に努めてまいります。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和6年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、引き続き「桶川市第六次総合計画」の将来像である「学び豊かな 笑顔あふれる 幸せ未来都市 おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいり所存でございますので、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、市政に対します、より一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。